

酒類・食品 & News 解説 週刊

令和6年9月13日(金曜日) 第3412号
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
購読料 6ヵ月 14,300円(税込み)
振替番号 東京4-71739
発行所 株式会社日刊経済通信社
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府ビル9階
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
http://www.nikkankeizai.co.jp/

'24年秋冬の家庭用嗜好飲料特集①

消費杯数増加、目指す動き



6月に就任した島本憲仁社長(写真)は、成長カテゴリーのスティックに加え、IC(袋、びん)に注力する方針を掲げる。このほどの専門紙向け会見では、自身が新卒入社のプロパーであることに触れ「AGFに育てられた」意識が強い。恩返しをしたい」としつつ、情緒価値の発信、インスタント製品の魅力向

「AGFに育てられた」意識が強い。恩返しをしたい」としつつ、情緒価値の発信、インスタント製品の魅力向

上は注力する方針を示したほか、「コーヒー屋」としての矜持を抱えていることを明らかにした。同氏は冒頭、AGFの強みは「コーポレートスローガン「いつでも、ふう。」にある」と力説。「嗜好飲料はリラクゼーションの創出など数多くの情緒価値で、心の健康」に貢献できると確信している。例として「ブレンディ」シリーズのメックシリーズの包装が好評なことや「固定概念にとらわれない製品、サービスを展開する」と意気込



「ブレンディ」シリーズのメックシリーズの包装が好評なことや「固定概念にとらわれない製品、サービスを展開する」と意気込

多くの嗜好飲料を取り扱うメーカーであり、それがスティックのバラエティなどで武器となることを認めながらも「ブレンディ」をはじめ「コーヒー屋」としてのプライドがある」とも強調。特にロングセラーカテゴリーであるIC(袋、びん)が伸び悩む現状に満足していない考えを隠さず、これらの魅力発信に投資していく考えを示した。

「手頃さ」維持 IC(袋、びん)は「ブレンディ」「ちよつと贅沢な珈琲店」「マキシム」の新サイズ袋入りを発売。コスト高により1杯当たりの値上げは余儀なくされているが、伊藤英郎コシネス部長によ

味の素AGF(AGF)「コーヒー屋」としてのRCの価値

嗜好飲料は、コスト高騰と円安で繰り返しの値上げを余儀なくされている。文化として定着しているため、消費が極端に落ち込むことはないが、「常に値上げしているイメージがついてしまった」(業界関係者)ことは否定できず、金額ベースはさ

カーが散見される。対象製品も袋、びんのインスタントコーヒー、袋のレギュラーコーヒーといった容量の多い形態で、有言実行と言えよう(以下レギュラーコーヒーRC、インスタントコーヒーIC)。

主な内容

秋 嗜好飲料特集①	1〜5面	越後製菓前期実績	13面
冬 嗜好飲料特集②	6〜10面	はごろも秋冬新製品	10面
(味の素AGF、キーコネスF(AGF)、キーコネス)	11〜14面	フジレイオンセツテイニング	14面
今夏のビール類・RTD	7面	外食産業フェア	13面
「シブフレ」9月末開催	5面	主「メーカー」改訂	3面
		強「物流2法」改正	8面
		◎原料商品情報	89面



日刊食品通信 ●A4判速報形式 ●有力企業広告も掲載 ●購読料 6ヵ月45,100円(税込み)
業界唯一の酒類食品総合日刊紙。多忙の時はヘッドラインをお読み下さい。本文も簡潔、明瞭です。

日刊経済通信社の刊行物

独自の調査による統計・レポートづくりを通じて50余年。今後も酒類食品業界をデータとして記録し続けます。



酒類食品統計月報 ●B5判雑誌形式。毎月月末発行 ●有力企業広告も掲載 ●購読料 6ヵ月24,750円(税込み)